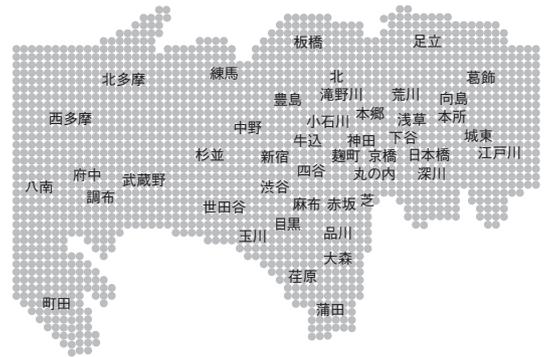


平成29年 東京都校友会 新年賀詞交歓会華やかに



恒例の新年賀詞交歓会は、平成29年1月21日(土)午後6時より、ホテルメトロポリタンエドモント「悠久の間」にて、中原 泉 理事長・学長・校友会会頭をはじめ多数の来賓を迎え、盛大に開催された。

新春の笑顔と活気の中、新年賀詞交歓会が始まった。司会進行は小杉京子(74回)、山中 秀(79回)両理事によって行われた。出席いただいた先生方の挨拶の要旨を記載する。

◇吉井廣明都校友会副会長(63回)

昨年は久しぶりに歯科業界、大変静かでした。しかし、政治のほうがちよっとおかしくなったようで、東京都知事が引きずり降ろされて、女性のリーダーが誕生いたしました。韓国では女性のリーダーが引きずり降ろされて、アメリカではかなり変わったリーダーが、今日、誕生したようです。これからの2時間半ゆっくりとご歓談いただきたいと存じます。

続いて、声高らかに校歌が歌いあげられた。次に、小山都校友会会長より挨拶があった。

◇小山 理 都校友会会長(55回)

会員の皆様、常日頃よりご助言やご協力をいただきスムーズに会務を運営することができておりますことに心より御礼申し上げます。昨年は朝比奈敏行先生(37回)が瑞宝双光章、手塚裕文先生(56回)は旭日双光章、西川正昭先生(56回)の日本歯科医

師会会長表彰はじめ総勢10人を超える方々が受章され、都校友会挙げての慶事となりました。もう一つの慶事として、本学創立110周年、創立者中原市五郎先生生誕150年記念式典・講演会・祝賀会が開催されました。都校友会会員も約500名の方に出席をいただき、祝賀会会場も大盛況でした。

次に東京都歯科医師会は平成29年6月で現執行部の任期が満了となります。都校友会から現副会長の山崎一男先生(66回)を次期東京都歯科医師会会長候補者として推薦することを決定しました。会長として最適者であり自信を持って推薦いたします。今後とも山崎先生をしっかりと応援してまいりますのでよろしくご協力をお願いいたします。

来賓の挨拶

◇中原 泉 会頭

新年明けましておめでとうございます。文部科学省は、個々の大学は個性を出せという指導をしきりに言っておりましたが、「日本歯科大学は11,000人の卒業生を有する世界最大の歯科大学である」ということを特色にしようと思いました。昨年、110周年に当たりまして、もう一つ特色を打ち上げようと思い、今年大学の新年会でこのような話をいたしました。「日本歯科大学は総合的に見て、日本の歯科大学・歯学部トップ校である」という宣言をいたしました。ただ、これには「総合的に見て」という条件が付くのです。私どもは自分たちの足らざる

ところは承知をしておりますので、さらに高みを目指して努力をしていく、そういう活動をしていかなければならないと思っているわけでございます。

◇近藤勝洪校友会会長

昨年は母校の創立110周年、また中原市五郎先生の生誕150年という2つの慶事がございましたが、10月22日（土）の記念大会には多数の先生方にご参集をいただきまして、心より感謝の意を申し上げます。お預かりした特別負担金を、大学の育英基金に寄付させていただきました。残すは110周年記念誌の発刊でございますが、今年度中には発刊できる運びになると思います。大学の運営の6割は学納金でまかなわれているとお聞きしました。これからも東京・新潟両校に多くの優秀な学生さんが入学していただくことを校友会の先生方をお願い申し上げます。

◇羽村 章 生命歯学部長（68回）

昨年は約900名の受験者がおりました。今年は1,000名を超えたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。附属病院においては、三代病院長と協力し、9年間で患者数を3万人増やしました。また、初診数も30パーセント増を達成しましたが、これも校友会の先生方から多くの患者さんを紹介していただいているという賜物であり、感謝申し上げます。生命歯学部では、ICT（情報通信技術）関連の設備と、LMS（学習管理運営

システム）の構築を進めてまいりましたが4月1日より運用が始まります。新1年生からはレポートの提出などすべてコンピューター上で、それぞれの先生とのやりとりが行われます。大学から各学生にメールアドレスを付与し、卒業後も持ち続けることによって、同級生のグループが一生続き、日本だけではなく世界各地でも活躍してほしいということも願っております。

◇勝海一郎歯学会会長（63回）

私の任期中に、ウインターミーティングの開催や、歯学会質問コーナー開設、また研究意欲にあふれた学生に対する表彰制度などが、新事業として立ち上がりました。今年は12月に生命歯学部でウインターミーティングの開催を予定しております。また、本学が世界に誇る『*Odontology*』へのご支援も引き続きよろしくお願いいたします。

続いて、須藤豊哉専務（75回）より山崎東京都歯科医師会副会長からの祝辞の代読があった。例年同様、会場には豪華な料理、豊富な飲み物が並び、メイン会場に入りきれないほどの会員が集まった。楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、最後は渡邊儀一郎都副会長（63回）より、閉会の辞が述べられ、平成29年新年賀詞交歓会は滞りなく幕を閉じた。

（鈴木 淳・77回）

